

研究科

---

# Advanced Studies

AS

2026年度 研究科

○=実務教員授業 OL=オンライン授業

科目名	授業分野	担当教員	開講期	時間割	教室	単位
研究1						4
選択必修	○ブランディング	添田将平	前	火5/6	521	
選択必修	○インフォグラフィック	渡辺裕亮	前	土3/4	122	
	○プロジェクト演習 ※渡辺先生は後期6回のみ	馬場 渡辺(後6回)	後制	火3/4	521	
研究2						4
	○美学	奥村大介	前	木5	OL	
	○記号学	奥村大介	後	木5	OL	
研究演習 1-1						6
	* テーマ制作はゼミ制(所属は基本1ゼミですが、他のゼミ開講時間も制作時間として出席をとります)					
	○テーマ制作	齋藤浩	前	月1/2	621	
		牛脇達夫	前	木3/4	621/423	
		山下征志	前	水3/4	423	
		馬場恵・特別講師	制	水3/4	621	
該当専攻分野を選択必修	○キャリアサポート:専攻分野A キャリアサポート:専攻分野B	馬場恵	前	月1/2	423	
		馬場恵	前	月3/4	621	
		前期講評 担当教員全員	前	調整週/1日間		
研究演習 1-2						6
	* テーマ制作はゼミ制(所属は基本1ゼミですが、他のゼミ開講時間も制作時間として出席をとります)					
	○テーマ制作	齋藤浩	後	月1/2	621	
		牛脇達夫	後	木3/4	621/423	
		山下征志	後	水3/4	423	
		馬場恵・特別講師	後	水3/4	621	
該当専攻分野を選択必修	○キャリアサポート:専攻分野A キャリアサポート:専攻分野B	馬場恵	後	月1/2	423	
		馬場恵	後	月3/4	621	
		後期講評 担当教員全員	後	調整週/1日間		
修了制作						6
	○修了制作指導	齋藤浩	制	月1/2	621	
		牛脇達夫	制	木3/4	621/423	
		山下征志	制	水3/4	423	
		馬場恵・特別講師	制	水3/4	621	
該当専攻分野を選択必修	○キャリアサポート:専攻分野A キャリアサポート:専攻分野B	馬場恵	制	月1/2	423	
		馬場恵	制	月3/4	621	
		制作指導 研究科教員		上記授業時間外 月~金1~4限	各教室	
		修了制作審査/講評 担当教員全員		制作週外/2日間		
		○修了制作展 展示 馬場/助手		制作週後/1週間		
特別研究						5単位以上
(学術造形科目+特別講義)	特別講義					1
	任意の学術造形科目 2科目以上					4

※講評、展示等の日数は変更になる場合があります。

修了に必要な修得最低単位数



	科目種類	
2026年度 入学生	専門科目	26
	特別研究(特別講義と任意の学術造形科目)	5
	合計	31

## AS 対面とオンライン併用での実施

科目名	研究1	授業分野	ブランディング
担当教員	添田将平		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照 2013年～ランドー&フィッチ勤務 企業やサービス、製品のブランディングデザインに従事 (主なクライアント) 株式会社デサント、マツダ株式会社、工機ホールディングス株式会社、三井不動産リアルティ株式会社、 江崎グリコ株式会社、川崎重工業株式会社 等		
授業内容 および 到達目標	ブランディング会社 ランドー&フィッチ(LANDOR & FITCH)で実際に行っている開発プロセスを踏まえ、ディスカッション、コンセプト作り、デザイン開発、プレゼンテーションを実践し学習することで、ブランディングという思考の獲得を目指す。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 Brandingってなに？ 講師自己紹介。生徒自己紹介。ランドーの事例を含めながらブランディングの概念を説明。 2週 ロゴデザイン開発 自分自身を分析し、キーワードを抽出。キーワードを元にロゴデザイン(スケッチ)。 スケッチしたアイデアから一つを選び Macを使いロゴ開発 3週 プレゼンテーション MACを使いロゴ開発。各自プレゼンテーション。 4週 CI 背景理解・分析 特定のブランド(企業、製品)を選定し、背景理解、分析を行う。(グループ) 5週 CI 背景・分析・開発の目的 1回目の分析結果を発表。コンセプト抽出の為にワークショップを行う。(グループ) 6週 CI 背景・分析・開発の目的 2回目で抽出されたブランドのキーワード、イメージ、スケッチ等から、コンセプトを 3方向制作。(グループ) 7週 CI コンセプト開発 3回目で制作した3方向のコンセプトの発表。 コンセプトの中から1つを選定して、ブランドマークのアイデアスケッチ。(各自) 8週 CI デザイン開発 1 ブランドマークのアイデアスケッチ。Macを使いデザイン開発。(各自) 9週 CI デザイン開発 2 MACを使いデザイン開発。ブランドマーク決定。(各自) 10週 CI デザイン開発 2 決定したブランドマークを元にコンセプトを表現する展開物を制作。(各自) 11週 プレゼンテーション 各自でプレゼンテーション。講評。 12週 プレゼンテーション 各自でプレゼンテーション。講評。 ブランディングの難しかった点や、良かった点等、意見をもらいながら、今後のアドバイス等。		
初回持参物	鉛筆、黒サインペン		
準備学習	自分の身の回りのモノ、コトや街をよく観察すること。 毎回異なるため、具体的には各授業の最後に伝えます。		
成績評価方法 および 評価基準	成果に対し総合的に成績を判断する。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

科目名	インフォグラフィック	授業分野	インフォメーショングラフィック
<p>担当教員</p> <p>渡辺 祐亮(株式会社 cocoroé)</p>	<p>専門:インフォグラフィック、イラストレーション</p> <p>2015~2017年:ロンドン、ニューヨークでの夏期海外研修を経験</p> <p>2017年:mother juiceのデザインでGOOD DESIGN賞を受賞</p> <p>2020年:農的暮らしや自然生態系をイラストで図解するライフワークをスタート</p> <p>2022年:宮崎県新富町の芸術祭にアーティストとして参加</p> <p>2024年:川崎市市政100周年記念誌のキービジュアルをデザイン</p>		
<p>授業内容 および 到達目標</p>	<p>インフォグラフィックの制作を通して情報整理の思考と技術を身につける。 社会と自分のつながりを考え、表現と行動ができる人になる。</p>		
<p>授業内容詳細・進行</p>			
	<p>課題1:アイコンや図を制作 (Adobe Illustrator推奨)</p> <p>課題2:自由テーマのインフォグラフィック</p> <p style="padding-left: 20px;">テーマは、サービス、モノ、ニュース、社会課題など個人の興味に合わせて設定</p> <p>1週 前半:インフォグラフィックの基礎 ~思考と技術~ 後半:課題1の制作</p> <p>2週 前半:インフォグラフィックを活かした働き方 ~表現と行動~ 後半:課題1の制作</p> <p>3週 前半:インフォグラフィックの事例紹介 ~Adobeソフトでできること~ 後半:課題1の成果発表</p> <p>4週 課題2「自由テーマのインフォグラフィック制作」の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のテーマを決める</li> <li>・各自テーマを発表</li> </ul> <p>5週 前半:課題2の制作に向けての補足やアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ChatGPTの活用術を紹介</li> <li>・Adobe illustratorの便利機能紹介</li> </ul> <p>後半:各自課題2の制作『構図やトンマナを決める』</p> <p>6~11週 前半:5週目までの振り返りと、本制作に向けての補足やアドバイス 後半:各自課題2の制作</p> <p>※ 6 週目からは基本各自の制作の時間がメインになりますが、授業冒頭にみなさんの進捗に合わせて制作に役立つ情報やアドバイスを提供します。</p> <p>12週 講評会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>株式会社cocoroé</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>CLASS101でリリースした 「はじめてのインフォグラフィック講座」</p>  </div> </div>		
<p>初回持参物</p>	<p>筆記用具</p>		
<p>準備学習</p>	<p>インフォグラフィックの制作を通して情報整理の思考と技術を身につける。社会と自分のつながりを考え、表現と行動ができる人になる。</p>		
<p>成績評価方法 および 評価基準</p>	<p>Adobeの基本技術と表現力、社会への洞察力を身につける講座なので、インフォグラフィックのクオリティとそこに至るまでのリサーチ力、情報整理力、統合力を評価。周囲への配慮と独自性のバランスも身につけてほしい。</p>		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

## AS 対面とオンライン併用での実施

科目名	研究1	授業分野	プロジェクト演習
担当教員	馬場 恵		
専門 実務経験等	専門: 美術家 2022年角川武蔵野ミュージアム、2018年 アーツ前橋 " Art Meets 05"にて作品発表。 2025+2015年+2013年 中之条ビエンナーレ参加 など。2004年から2010年まで行ったアサビとイギリス Norwich University of the Arts との国際交流運営やフランス ENSADの留学生を指導。海外での発表は、2019年 " Equilibrium " Exhibition Art/NaturSci Pavilion(イタリア)や2018年"Eco-connectivity" Berlin Science week, Humboldt t-Universität zu Berlin's Thaeer (ドイツ)など。		
担当教員	渡辺 祐亮(株式会社 cocoroé)		
専門 実務経験等	専門: インフォグラフィック、イラストレーション 2015~2017年: ロンドン、ニューヨークでの夏期海外研修を経験 2017年: mother juiceのデザインでGOOD DESIGN賞を受賞 2020年: 農的暮らしや自然生態系をイラストで図解するライフワークをスタート 2022年: 宮崎県新富町の芸術祭にアーティストとして参加 2024年: 川崎市市政100周年記念誌のキービジュアルをデザイン		
授業内容 および 到達目標	自分の制作や作品が、これから社会の中で持ちうる役割や機能を考え、現実への問題意識、制作への企画力、作品化に必要なスキルの獲得を目標に共同プロジェクトを行います。交換留学生との共同制作で国際的視野を培い、学校外での展覧会での発表を企画運営することで、社会への提示と様々な分野との共同制作から自分の制作への客観的認識と実践力を身につけます。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 共同プロジェクト vol.1_SDGsに可視化の考え方を導入 2週 vol.2_公園を読む ~フィールドワーク~ 3週 vol.3_気づきから問いへ ~ コンセプト設計 ~ 4週 vol.4_企画に翻訳する ~ アイデアの言語化とビジュアルデザイン ~ 5週 vol.5_伝わる形にまとめる 6週 vol.6_プレゼンテーション 7週 修了制作展の展示計画 vol.1_卒業制作展の概要ガイダンス 8週 vol.2_各自の研究制作に対する展示計画の策定 9週 vol.3_中間講評会を受けた展示計画のブラッシュアップ 10週 vol.4_展示計画の確定と展示物の準備 11週 vol.5_展示物の準備とチェック 12週 vol.6_セッション杉並展示室での修了展仮展示と審査準備		
〈制作期〉	1週 社会におけるクリエイションの現在と自らのクリエイションについてのディスカッション 2週 アート/デザイン・クリエイションがこれから社会で実現できることについてのディスカッション 3週 各自の行っていく、これからのクリエイションについてのプレゼンテーション 4週 卒業制作展展示打ち合わせ		
初回持参物	ポートフォリオ/筆記用具/ノート/スケッチブック		
準備学習	日頃から、興味のある様々な展覧会を見学し、その効果的な要素を記録しておく。分野の違うクリエイションにも興味を持ち、自分らしい視点で意見を言える姿勢を保つ努力をすること。		
成績評価方法 および 評価基準	積極的に自分で考え、興味を持って調べること。 情報を伝える力と受け取る力を身につけ、クラスのメンバーが共有する制作に積極的に関わって行くこと。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

科目名	研究2	授業分野	美学
担当教員	奥村大介		
専門 実務経験等	専門:文化史／思想史 2013年より大学講師		
授業内容 および 到達目標	人間は美をつくりだすとともに、美を言葉で捉えて、美学・詩学・芸術学と呼ばれる知識をつくってきました。本講義ではこれらの領域の基礎知識を概観し、クリエイターにとっても把握しておくべき芸術をめぐる思想的・哲学的問題をともに考えます。西洋思想のなかで絵画・彫刻・建築・文学・舞踊などの芸術はどのように捉えられてきたのかを知り、美を捉え・美を創り出すものとしての人間の感性について、的確な言葉で表現できるようになることがこの授業の到達目標となります。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 序論:美学は何を問題にするか 2週 近代芸術の三段階 3週 美をめぐる思考 4週 芸術と芸術家 5週 感性的認識 6週 自然美 7週 崇高 8週 模倣と複製 9週 表現と作品 10週 趣味判断 11週 天才 12週 総括		
	参考書 竹内敏雄『美学事典(増補版)』弘文堂、1974年 佐々木健一『美学辞典』東京大学出版会、1995年 佐々木健一『美学への招待』中公新書、2004年 小田部胤久『西洋美学史』東京大学出版会、2009年 Berys Gaut and Dominic Lopes eds., The Routledge Companion to Aesthetics, 3rd ed, London and New York, Routledge, 2013 バウムガルテン(松尾大訳)『美学』講談社学術文庫、2016年 カント(中山元訳)『判断力批判』上・下、光文社古典新訳文庫、2023年		
初回持参物	筆記用具		
準備学習	美や芸術も含めて文化や文明にたいする好奇心と批判精神をもって日常のさまざまな出来事に接し考えることが準備学習となります。		
成績評価方法 および	リアクションペーパーと授業への参加度で評価します。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

科目名	研究2	授業分野	記号学
担当教員	奥村大介		
専門 実務経験等	専門:文化史／思想史 2013年より大学講師		
授業内容 および 到達目標	記号とは、社会のなかで共有されている慣習や規則によって、〈何か〉(一定の内容)を表すために用いられる別の〈何か〉(一定の表現)のことです。数学記号や化学式、交通標識やアイコン／ピクトグラムはもちろんのこと、そもそもわれわれが使っている言葉が典型的な記号です。さらに生物世界全体をみても、たとえば遺伝子の塩基配列とそれが実現する組織形状の間にも記号としての関係を認めることができます。本科目では記号をできるだけ広く捉え、美的経験や創作行為のなかで、〈何かが何かを指し示す〉という出来事はどのようなものでありうるのか、そして、それはどのように読み解きうるのかを知ることが到達目標となります。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 序論 2週 言葉と物 3週 レトリックの知 4週 記号内容と記号表現 —— ソシュールの記号学 5週 類似・指標・象徴 —— パースの記号学 6週 普遍記号の夢 —— 人工知能の源流 7週 消費社会と欲望 8週 都市と記号 9週 政治と象徴 10週 メディアと記号の変容 11週 生命記号論 12週 総括		
	参考書 石田英敬『記号論講義』ちくま学芸文庫、2020年 池上嘉彦『記号論への招待』岩波新書、1984年 池上嘉彦『詩学と文化記号論』講談社学術文庫、1992年 佐藤信夫『レトリック感覚』講談社学術文庫、1992年 ギロー(佐藤信夫訳)『記号学』白水社、文庫クセジュ、1972年 ソシュール(影浦峯・田中久美子訳)『一般言語学講義』東京大学出版会、2007年 パース(内田種臣編訳)『パース著作集2 記号学』勁草書房、1986年 エーコ(池上嘉彦訳)『記号論』1・2、講談社学術文庫、2013年 バルト(石川美子訳)『零度のエクリチュール 新版』みすず書房、2008年 バルト(佐藤信夫訳)『モードの体系』みすず書房、1972年 ノウルソン(浜口稔訳)『英仏普遍言語計画』工作舎、1993年 ヤグェーロ(谷川多佳子・江口修訳)『言語の夢想者』工作舎、1990年 ロッシ(清瀬卓訳)『普遍の夢』国書刊行会、2012年 ユクスキュル&クリサート(日高敏隆・羽田節子訳)『生物から見た世界』岩波文庫、2005年 ホフマイヤー(松野幸一郎・高原美規訳)『生命記号論』青土社、1999年		
初回持参物	筆記用具		
準備学習	美や芸術も含めて文化や文明にたいする好奇心と批判精神をもって日常のさまざまな出来事に接し考えることが準備学習となります。		
成績評価方法 および	リアクションペーパーと授業への参加度で評価します。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

## AS 対面とオンライン併用での実施

科目名	研究演習1-1・1-2	授業分野	テーマ制作
担当教員①	馬場 恵		
専門 実務経験等	専門: 美術家 2022年角川武蔵野ミュージアム、2018年 アーツ前橋 "Art Meets 05"にて作品発表。 2025+2015年+2013年 中之条ビエンナーレ参加 など。2004年から2010年まで行ったアサビとイギリス Norwich University of the Arts との国際交流運営やフランス ENSADの交換留学生を指導。		
担当教員②	牛 鷹 達 夫		
専門 実務経験等	専門: 彫刻家(専門領域 立体造形 CG制作) 1986年 武蔵野美術大学大学院造形研究科修了 2001年～2013年 北海道開発局 帯広開発建設部 千代田新水路事業 CG制作 2015年 国土交通省 荒川下流河川事務所 CG制作		
担当教員③	齋 藤 浩		
専門 実務経験等	専門: グラフィックデザイナー 文化庁メディア芸術祭優秀賞、準朝日広告賞、毎日広告デザイン賞優秀賞・奨励賞、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ入選、世界ポスタートリエンナーレトヤマ銅賞他。 主な仕事は広告、装丁、VI計画、パッケージなど。tong-poo graphics主宰。		
担当教員④	山 下 征 志		
専門 実務経験等	専門: 映像作家 2001年 東京工芸大学大学院芸術学研究科修士課程修了。商業短編映画、ミュージック・ビデオ、イベント映像などを監督・脚本。文化庁委託事業「若手映画作家育成プロジェクト ndjc2013」に選出。以後監督・脚本による短編映画作品を国内外の映画祭および特集上映で発表。大学・専門学校にて実写映像、映像構成や脚本、演出指導に携わり、企画立案から制作設計まで一貫した指導を行う。		
授業内容 および 到達目標	基本的には、各自のこれまでの学びから得た課題や新しい分野への興味をベースに自分の研究テーマを設定。年間で複数の課題、もしくは一つの課題を継続制作しても良い。問題の分析、制作についての発想力、企画力のブラッシュアップ、各分野で獲得すべきスキルを身につける戦略的な学びのプランニングと実践を行います。個別面談形式での指導で、就職、進学、将来の制作につながる骨子となる制作に取り組みます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前期中完成要素: 現時点での自分を最大限アプローチできるポートフォリオ</li> <li>1週 専攻分野担当講師のクラスで面談(これまでの制作と自身の通年の研修計画の確認)</li> <li>2～5週 講師によるヒアリング、プロジェクト立案の為のリサーチ、通年の制作発表計画立案作成</li> <li>6週 半期終了のテーマ制作および通年の修了制作・第1回プレゼンテーション &amp; 中間講評</li> <li>7～11週 プロジェクトの確定、テーマや制作物のリサーチ、制作 制作の幅を広げる新しい表現方法への挑戦やアプローチの検討</li> <li>12週 第2回プレゼンテーション &amp; 合評(年間プロジェクト: 完成までのプロセスの設定を完了。複数プロジェクト: 完成。)</li> </ul>		
〈後期〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>1週 後期の制作内容確認。継続制作指導の企画および新規企画の確認。制作指導。</li> <li>2～5週 目標に合わせた制作の目標設定。修了制作の制作開始。               <ul style="list-style-type: none"> <li>●就職希望者 就職活動に効果的にアピールできるプロセスの見せ方や完成度の高い作品の完成。</li> <li>●大学院進学希望者 大学院レベルの研究につながる目標の設定の見直しや制作の完成。学校への提出作品の完成指導。</li> <li>●作家活動を目指す 学校外への活動の具体化。展覧会や公募展への応募作品の完成指導など。</li> </ul> </li> <li>6週 「修了制作」第1回プレゼンテーション &amp; 中間講評</li> <li>7～11週 制作指導</li> <li>12週 第2回プレゼンテーション &amp; 修了制作審査</li> </ul>		
〈制作期〉	<ul style="list-style-type: none"> <li>1週 修了制作展に向けた作品制作指導</li> <li>2週 // 再審査・展示審査</li> <li>3週 修了制作展に向けた作品制作指導</li> <li>4週 // 最終制作確認</li> </ul>		
初回持参物	ポートフォリオ(自分の過去の作品集) / 研修計画書 / 筆記用具		
準備学習	研究科以前の学びで達成できなかったことを自己分析し、克服すべき課題を見つけておくこと。		
成績評価方法	自らの制作と社会との関係を意識しつつ、企画・制作スキル・提示する方法を考えながら制作を進行すること。		

および  
注意事項

成果物だけでなく1年間の取り組み姿勢とプロセスを評価。

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

## AS 対面とオンライン併用での実施

科目名	研究演習1-1・1-2	授業分野	キャリアサポート専攻分野A/B(選択)
担当教員	馬場 恵		
専門 実務経験等	専門: 美術家 2022年角川武蔵野ミュージアム、2018年 アーツ前橋 " Art Meets 05"にて作品発表。 2025+2015年+2013年 中之条ビエンナーレ参加 など。2004年から2010年まで行ったアサヒとイギリス Norwich University of the Arts との国際交流運営やフランス ENSADの留学生を指導。海外での発表は、2019年 " Equilibrium " Exhibition Art/NaturSci Pavilion(イタリア)や2018年"Eco-connectivity" Berlin Science week, Humboldt t-Universität zu Berlin's Thae (ドイツ)など。		
授業内容 および 到達目標	大学院進学・就職活動・作家活動の継続など研究科生の目指す様々な進路への直接的なアプローチを年間で指導。完成度の高いポートフォリオ制作と、入試対策の研究計画書作成や、就職活動での効果的な自己アピール、作家活動に必要なプランニングなど、プレゼンテーション力を磨くことにも力を入れて学びます。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 インTRODクシヨN: 私 の な り た い 私 1年後の目標達成と将来のクリエイター像を見通す 2~4週 《ポートフォリオ分析》 1: 現在のポートフォリオによるプレゼンテーション 2: 各目的に必要なポートフォリオの研究と改善点の分析 3: 各自の問題点の洗い出しと以降の制作スケジュール 5~12週 《進む分野の現状研究》 ● 就職希望者 業界の動向・企業研究。自分の目指す職種の分析、自分の適性とアピールポイントの整理 ● 大学院進学希望者 受験校の確定。担当教授の選定。受験スケジュール、制作スケジュール確認。研究計画書の作成指導。 ● 作家活動を目指す 目指したい方向性の明確化。参考にすべき活動を行っている作家のリサーチ。応募する公募や展示の研究。 ○ 各業界関係者や卒業生によるレクチャーや、ポートフォリオを通じた添削指導も随時実施。		
〈後期〉	1週 目標の確認: 前期で達成できたこと。これからすべきことの整理。 2週 各自の後期以降の方向性についてのプレゼンテーション。 3~12週 〈具体的な活動に向けた準備とアプローチ〉 ● 就職希望者 就職活動の進行状況、随時確認。アピールポイントの整理と、ポートフォリオの改善。 ● 大学院進学希望者 教授面談の準備。研究計画書の完成。ポートフォリオの改善。試験対策(面接・小論文の練習)。 ● 作家活動を目指す 公募展への出品。これからの活動についての計画検討。ポートフォリオの改善。 ○ 各業界関係者や卒業生によるレクチャーや、ポートフォリオを通じた添削指導も随時実施。		
〈制作期〉	1週 目標達成に向けたアプローチ: 私 の な り た い 私 = 今、やるべきアプローチの確認 2~4週 個別指導: 各自の取り組みの問題点、改善点を明確化。目標達成に向けた対応を指導。		
初回持参物	ポートフォリオ／筆記用具／ノート／スケッチブック		
準備学習	希望する進路の可能な限り具体的な目標をあらかじめ考えてくること。企業のリサーチ、受験する大学院のリサーチなど。		
成績評価方法 および 評価基準	進路に対する明確な意識を持って、自ら興味を持って調べ、自ら勇気を持って行動すること。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

## AS 対面とオンライン併用での実施

科目名	修了制作	授業分野	修了制作
担当教員	研究科 担当教員		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照		
授業内容 および 到達目標	①前期からの通年の企画、前後期制作期での複数の企画など、プロセスを含めた修了制作指導 ②研究1 / 2 および研究演習と連動して通年で 修了制作完成に向けた展開 ③リサーチ・プレゼンテーション・アプローチのプロセスを経て、社会性のある制作を目指します。		
授業内容詳細・進行			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通年での制作を通じ、継続的に取り組める、自らの核になる制作の課題を見いだします。</li> <li>○各クリエイション分野の現在の動向にも興味を持ちながら、自分の特性やアプローチの方法を模索し、個性の追求と共に、社会に繋がるクリエイションへの展開を目標とします。</li> <li>○自ら興味を持ち、現場でのクリエイションの状況をリサーチし、自分のオリジナリティーについて考え、制作での試行錯誤を重ね、自信を持って社会にプレゼンテーションできる修了制作を仕上げます。</li> </ul>		
初回持参物	筆記用具		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 評価基準	①担当分野の講師や特別講師との制作を通じたコミュニケーションから、じっくりと時間をかけて自分の特性やクリエイションの完成度を育てていきます。②自らに必要な知識、スキルを客観的に判断し、通年の講座受講などをプランニングする事。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可

## AS 対面とオンライン併用での実施

科目名	特別講義	授業分野	特別研究
担当教員	特別講師		
専門 実務経験等	専門:グラフィックデザイン、現代美術など 実社会の各分野で活躍中のデザイナーや作家		
授業内容 および 到達目標	①特別講師によるレクチャー ②ワークショップによる新しい表現方法体験や実験的制作 ③専攻分野が該当する学生のポートフォリオ指導		
授業内容詳細・進行			
	<p>実社会の各分野で活躍中のデザイナーや作家を特別講師として迎え、学生時代から現在までのキャリア構築、実際の制作活動から発表などのお話を伺い、クリエイターとして、これからの各文化の可能性について特別講義を開講。</p> <p>・気軽な特別講師との対話の機会の設定や、個別にポートフォリオの指導を行う時間も設け、自分の制作や研究の方向性への相談や、就職や社会での発表活動の相談なども可能。</p>		
初回持参物	各自の最新のポートフォリオ、ワークショップに必要な素材、筆記用具など		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 評価基準	社会に開かれた新しいクリエイションに興味を持ち、積極的に自分に活かせる要素を検討すること。特別講師との対話やワークショップでの体験を通じて、自らの表現活動の新しい捉え方を発見する。		

注意事項

成績評価(100点評価): 100~90点: 秀 / 89~80点: 優 / 79~70点: 良 / 69~60点: 可 / 59点以下: 不可